

(様式第1号)

■ 会議録 □ 会議要旨

会議の名称	第14回芦屋市環境づくり推進会議
日時	令和3年11月22日(月) 14:00~16:00
場所	芦屋市役所北館3階 ミーティングルーム2
出席者	副会長 池内 清 委員 上田 順子 委員 浦川 朋子 委員 大脇 巧己 委員 船山 静夏 委員 半田 孝 委員 井岡 祥一
事務局	環境課長 富松 正貴 保全係長 岡本 祐子 課員 芝本 裕真
会議の公開	■ 公開 ----- □ 非公開 □ 一部公開 会議の冒頭に諮り、出席者○人中○人の賛成多数により決定した。 〔芦屋市情報公開条例第19条の規定により非公開・一部公開は出席者の3分の2以上の賛成が必要〕 <非公開・一部公開とした場合の理由>
傍聴者数	0人(公開又は一部公開の場合に記入すること。)

1 会議次第

- (1) 開会
- (2) 議事
  - ア 環境フェスタについて
  - イ 第11期の振り返り
- (3) 閉会

2 提出資料

会議次第

- 【資料1】環境フェスタレイアウト(案)
- 【資料2】環境フェスタスケジュール(案)
- 【資料3】環境フェスタチラシ(案)

3 審議内容

(事務局)

本日は、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから第14回芦屋市環境づくり推進会議を開催させていただきます。

それでは池内副会長、会議の進行をお願いいたします。

(副会長)

はい。それではまず、議事に入ります前に、事務局から委員の出席状況の報告をお願いします

(事務局)

委員12名中、本日7名がご出席でございます。半数以上の出席をいただいておりますので、本会議は成立しております。

(副会長)

ありがとうございます。本日、傍聴の方はいらっしゃいますか？

(事務局)

傍聴の方はいらっしゃいません。

(副会長)

それでは、議事に入ります。次第に沿って、事務局から説明願います。

(事務局)

はい。(資料の確認)

まず、今年度の環境フェスタについてです。今年度は事務局の判断で、表彰式を無くして開催することを考えています。また、開催する際は人数制限を設けようと考えています。環境フェスタの会場レイアウトですが、【資料①】と【資料②】を併せてご覧ください。市民センターの多目的ホールで「ポスター展と作文コンクールの展示」、「環境団体さんによる展示コーナー」、「半田先生による化石の展示コーナー」を予定しております。また、301号室・302号室では、環境団体さんによるワークショップを予定してします。ワークショップは30分ごとの予約制とし、3名×3ブースの9名を考えています。今回は開始時間を11:00からにすることで8枠設けることができ、最大で72名となり、より多くの方に参加いただけたと思います。

今回の募集については、【資料③】のとおり、環境フェスタの案内チラシをポスター展・作文コンクールの入賞者の方と、各小学校に配布する予定です。コロナ禍ということもあり、全ての方に参加していただくことは難しいので、募集制を考えています。

以上、事務局の案ですが、皆様のご意見をお願いいたします。

(副会長)

ありがとうございます。今年度の環境フェスタについて、ご意見があればお願いいたします。では、私の方から1点確認です。ワークショップで9名というのは、参加者が各机に3人ずつということでしょうか。

(事務局)

はい。当日は環境団体からのスタッフもいますので、このようにレイアウトにしました。

(副会長)

向かい合わせというよりは、1グループにスタッフが1~2人体制で子供達に付き、説明しながら回る方法が良いと思います。

(事務局)

そうですね。

(副会長)

参加者5~6名は難しくても、子供達にはスタッフ1名がつき、様子見ながらアドバイスでき

れば良いと思います。

(事務局)

分かりました

(大脇委員)

池内委員がおっしゃったように、部屋の定員が超えないようであれば、各団体さんのワークショップ内容によって3名や4名、あるいは5名にし、人数の管理については各団体にお任せしても良いかと思っています。

(事務局)

分かりました。定員については部屋が広いので、問題ないと思います。密にならないレイアウトとして案を作成しました。また、机の大きさを考慮しても、5人が使うとしても余裕があると思います。ただ、ご家族を含めた付き添いの方も来られて使うと思いますので、人数で区切るより組数で区切ると良いかもしれません。

(大脇委員)

そうですね。また、30分という時間を区切るよりは、各団体にお任せする方法が良いと思います。ただ、受付の方は大変になるかもしれませんね。

(事務局)

予約制にした理由は、万が一、中止になった場合に連絡が取りやすいことと、密を避けてある程度人数の把握や管理ができるということです。それ以外は、こだわりはありませんので、人数や30分の時間は各団体で調整できると思います。

(大脇委員)

前回の環境フェスタでは、私も団体の方でさせていただきましたが、半田先生の化石展示会はどのようにされる予定でしょうか。

(事務局)

今年度も、化石に関する説明文を添えて展示する予定です。半田先生には、可能な限り展示コーナーに付いていただき、参加者から質問があった場合はご説明いただければと考えています。

(半田委員)

化石の展示場所に張り付いて、案内したいと思います。

(事務局)

来期の委員さんが来られた際に、今回の環境フェスタでの役割分担等は説明する予定です。今回は表彰式がない分、ワークショップや展示コーナーに配置できると思います。環境団体によるワークショップは、初めての市民委員さんにとって刺激になると思いますので、各団体さんのお手伝いに入っていただこうと考えています。また、子供さんのお手伝いに入るのも良いと思います。委員さんには、それぞれ違う役割分担をお願いしようと考えています。

(副会長)

後は、人数制限でしょうか。子供達が部屋に入った際に、一か所で固まっていたのでは困りますね。

(事務局)

換気もおこないますし、比較的広いスペースを確保しますし、大丈夫だと思います。ただ、化石に触れることが少し懸念材料ではありますが、今回は、入口でしっかりアルコール消毒をすれば、大丈夫だと思います。もしくは、触らないことにしますか。

(副会長)

それでいいと思います。展示品に直接消毒するわけにもいきませんので。

(事務局)

化石展示は、入口で消毒と検温をしていただく方法で良いと思いますが、どうでしょうか。

(半田委員)

ぜひ、化石に触れていただき、重さや感触を学んでほしいと思います。

(事務局)

そのようにしたいと思います。

(半田委員)

もし、気にされる方がいましたら、百均などの使い捨て手袋を使う方法も良いと思います。

(事務局)

良いと思います。ご自由にとっていただけるように展示作品の横に置けば良いと思います。環境フェスタのおおよその流れは大丈夫でしょうか。人数などの詳細については、一度団体さんにお聞きしようと思います。

(半田委員)

手袋の装着を義務付けにすれば、人数の把握もできそうですね。

(事務局)

そうですね。ただ、数えるとなると大変ですね。入口でカウンターを使用して数えます。ワークショップ参加の方でも、早く来られたら展示コーナーに入って見学していただくことも良いと思います。

(副会長)

ありがとうございます。

それでは、次の議題について、事務局から説明願います。

(事務局)

チラシの配布時期の確認についてですが、皆様いかがでしょうか。チラシを全小学校に配布するとなれば、こちらで仕分ける時間が必要になりますので、可能な限り12月中に印刷依頼をかけたいと思います。

(副会長)

チラシについては、ワークショップの写真の確認が必要になると思います。

(事務局)

写真の確認とは、どういうことでしょうか。

(副会長)

チラシに掲載されている活動の写真と、当日の活動と異なっていたということもあると思います。各団体に確認し、実際におこなうワークショップの写真を掲載した方がいいかもしれません。

(事務局)

分かりました。ちなみにこどもエコクラブは、掲載写真と同じお雛人形作りをすると聞いていますので、この写真で大丈夫です。また、お聞かせください。

(井岡委員)

内容は良いと思います。まず、チラシについては、今後、感染状況がどうなるかわからないことを明記する必要があると思います。例えば、「万が一、開催を中止することがあります」といった内容でしょうか。もう一つは、会場についてですが、感染状況は落ち着いているが、会場が使えない場合も考えられると思います。11月の終わりで、ワクチン集団接種の2回目が80%を超えるということで、12月以降は個人の医療機関で接種することになると思います。しかし、今度は3回目接種の話が出ています。3回目接種となれば、8か月後ですと、6月頃に接種した方は来年2月頃になると思います。すると、再び集団接種の話がでてくるのではないかと思います。

(事務局)

その点は気になっていましたので、当初は多目的ホールと301、302室は避けて考えていました。しかし、市民センターに確認したところ、大丈夫ですとのことでした。

(井岡委員)

12月からは個別接種になると決まっていますが、3回目接種についての詳細は私も聞いていません。もし、3回目接種が始まるとすれば、まず医療従事者の方からだと思いますし、8か月後となれば来年2月になると思います。そうすると、感染状況は落ち着いているが別の会場にするか、あるいは中止にするか、といった選択肢になると思います。

(事務局)

現在のところ、2月の予約状況は空いていると聞いています。

(井岡委員)

当時、教育委員会で様々な施設や部屋を予約していましたが、ワクチン接種に使用するという理由で別の会場にしてくださいと断られました。例えば、給食展をおこなうために市民センターの多目的ホールを借りていましたが、ワクチン接種に使用するからと言われ、今の本庁舎1階のスペースに変更しました。経験上ですが、予約していても、ワクチン接種が優先されますね。

(池内委員)

接種1・2回目までは、初めての試みで難しいこともあったと思います。3回目ですから、ある程度の見込みはほしいですね。

(井岡委員)

予約したが、ワクチン接種を優先してくださいと言われて取消しされるという、最悪の場合も想定する必要があると思います。

(事務局)

ホームページなら、書き換えができます。しかし、チラシとなると枚数も多いですし、変更等のお知らせが難しいですね。配布は1月頃を考えています。

(井岡委員)

でしたら、チラシに「感染状況等によっては中止または変更します。詳細についてはホームページをご覧ください」と記入すると良いと思います。推進会議の方では、最悪の場合を想定し、変更など考えた方が良いと思います。感染状況は落ち着いているが、会場が取れないとなると非常に残念ですから。

(事務局)

安全策であれば、401室だと思います。ただ、401室となると、ワークショップだけになると思います。1回目の環境フェスタでは、401室でワークショップも展示も一緒におこないましたが、スペースが非常に狭くなるため、化石の展示はできないと思います。ポスターの展示と団体の展示とワークショップはできると思います。また、403室も使用できれば、化石展示が可能になりますね。前回の環境フェスタの振り返りでも、意見として出ましたね。

一度、401室、403室の予約状況を確認します。301室、302室、多目的ホールは取消ししようと思います。

今回は中止を避け、安全策を取って開催する方法が良いと思います。

(副会長)

もし、集団接種が始まったとしても、401室、403室は使用できるので良いと思います。

(事務局)

市民センターに確認したところ、2月5、6、13、20、26、27は両室とも全日空いています。2月19日は402室だけ午後から不可でした。2月26日（土）はいかがでしょうか。

(副会長)

良いと思います。

(事務局)

では、2月26日（土）に決定しようと思います。また、レイアウトについても考え直します。

(副会長)

環境フェスタについては2月26日（土）とします。日程等の連絡については、後日、連絡いただけるということよろしいでしょうか。

(事務局)

はい。次回の第12期の第1回目推進会議でお知らせします。環境フェスタの実施について、内容、役割分担の確認を考えています。

(副会長)

ありがとうございます。

それでは、次の議題について、事務局から説明願います。

(事務局)

以前にもお伝えしておりましたが、今年の11月末をもちまして、第11期の芦屋市環境づくり推進会議が終了いたします。それに伴い、第11期委員である芦屋市子ども会連絡協議会「浦川さん」、市民公募委員「上田さん、田中さん、船山さん、松原さん」が本日で最後となります。浦川さん、田中さん、船山さん、松原さんは平成29年から約4年間、上田さんは令和元年から約2年間、長きにわたって環境フェスタや作文コンクールなどの様々な場面でご協力いただきました。

第11期のこれまでの振り返りとして、皆様から一言ずつ感想をいただければと思います。まずは、池内副会長からお願いいたします。

(副会長)

私は、芦屋森の会2001に所属しております。今季はコロナの影響でほとんど活動ができませんでした。以前は観察会などもおこなっていましたが、そういった活動もできませんでした。とても残念でしたが、来期は是非できることを願っております。また、個人的に思っていますことは、芦屋の観察コースマップなどを作って配布し、市民自身でも使えるようできればと考えております。

(事務局)

ありがとうございます。では、半田先生から順番にお願いいたします。

(半田委員)

私も、コロナの影響で、思い通りに活動することができませんでした。現在のようにコロナが収まればできると思いますので、楽しみにしています。来期も引き続き、よろしく願いたします。

(船山委員)

私は2期続けて、参加させていただきました。今年度はほとんど参加できませんでした。このような市民委員という役割が初めてで、普段、関わらない方ともお話でき、貴重な経験になりました。また、環境フェスタも何度かお手伝いさせていただきましたが、少しでもお手伝いできて良かったと思います。個人的には、子ども環境作文を読むことを毎年楽しみにしていました。普段、子供と関わる機会がないので、子供達が、普段から自然や環境について考えていることを知れて、面白く新鮮でした。私は、今期で終了となりますが、これまでの蓄積の上に今後発展されることをお祈り申し上げます。ありがとうございました。

(事務局)

ありがとうございました。続いて、上田委員お願いいたします。

(上田委員)

私も、委員になった途端にコロナが流行し、また仕事の関係もあり、中々活動に参加できませんでした。やはり私も、子ども環境作文を読むことが楽しみでした。「小さな子供でも、様々な点に気が付くのか」と、とても新鮮に感じました。また、私が最初に委員に就任した際は、芦屋川でツルヨシを刈るイベントがあり、とても楽しかったです。今は、ツルヨシが根こそぎなくなって残念です。今までお世話になりました。ありがとうございました。

(事務局)

上田委員、ありがとうございました。少しずつ生えてきていますが、完全になくなりましたね。

(副会長)

阪急より北側は残っていますので、機会があれば、観察会等を企画して、市民に参加していただければ良いですね。

(事務局)

池内委員がおっしゃられていたように、芦屋川の石を観察して、六甲山のルーツをたどる機会があれば面白いかもしれませんね。

では、浦川委員、お願いいたします。

(浦川委員)

私は、子ども会連絡協議会から参加させていただきました。来期は、この会議に出たいという方がいらっしゃいましたので、交代させていただきます。個人的には、ツルヨシ刈りを2回も参加させていただき、印象に残っています。また、半田先生の日食メガネも楽しませていただきました。ありがとうございました。

(事務局)

ありがとうございました。では、大脇委員、お願いいたします。

(大脇委員)

浦川委員と同じ時期に就任しましたので、現在で4年目でしょうか。来期も引き続き、担当させていただきます。今年度はツルヨシを使ってと思っておりましたが、根こそぎ無くなり、驚きました。ただ、おかげさまで、NPO法人さんびいすの活動では、毎年10月下旬に芦屋川でモクズガニの観察会を実施しており、今年度はどうなるかと思いましたが、無事にモクズガニを発見することができました。鮎も例年以上にいました。やはり、自然は、人間が考える以上に強い生命力を持っていると感じました。今年度はコロナの影響もあり、満足な活動ができませんでしたが、12期推進会議は観察会等も含めて積極的に活動できればと思います。ありがとうございました。

(事務局)

ありがとうございました。続いて、井岡部長お願いいたします。

(井岡委員)

井岡です。私は今年の4月から就任いたしましたが、やはりコロナの影響で何もできませんでした。



子供達には、環境授業や環境体験教育を設けています。その中で、環境とは何かと考えた際、身近な場所から子供達は様々なものを見つけます。コンクリートの隙間に生えている雑草に目をつけ、そこにいる虫を見つけます。そこで、環境づくりと考えたときに、何よりも私たちが生活している身の回りのものに目を向けることが大切だと思いました。もちろん、大気汚染や土壌汚染といった守るべき問題がありますし、脱炭素といった新たな動きは、今後私たちが取り組まなければならない問題でもあります。

幼稚園では、地域を大切に自然環境をテーマとした幼児教育をおこなっています。子供達が芦屋の環境に目を向けてあげるように、そして、将来、子供達が大きくなったときに、その時に自分達が学んだことや勉強したことを大切にして、芦屋の環境を守ることに繋がればと思っています。上田委員がおっしゃっていたように、子供達は感性が豊かです。教育というよりも、まずは、子供達にきっかけづくりをし、そのことが子供達の感性を育てていくことに繋がると思っていますので、この芦屋市環境づくり推進会議の発信が子供達のきっかけとなるよう、精一杯協力ができればと思っています。ありがとうございました。

(事務局)

ありがとうございました。

昨年度から、コロナによって環境フェスタ等のイベントが十分に実施できず、満足いく活動ができませんでしたが、これまでの皆様のご意見やご協力のもとに、今後も芦屋市の環境保全にむけて推進していきたいと思えます。今後、ご機会がありましたら、環境フェスタやポスター・作文展示にお越しいただければと思います。

ご多忙の中、皆様、本当にありがとうございました。

(副会長)

当初予定していた議事は全て終わりましたが、他に何かございますか。

ないようでしたらこれで、第11期の第14回環境づくり推進会議を終了します。

ありがとうございました。